

多面的機能の維持・発揮活動

【施設部門】

せいりゅう さと やまぐち

清流の里 山口 (いなべ市)

ただ今 進捗率 90% ~ 地区全体を囲むまで取組は続きます ~

活動の状況 (協定農用地面積A=47.65ha)

山口は、鈴鹿山脈から源流の一つを有する文字どおりの清流の里です。中山間地の例に漏れず獣害に悩まされており、農家の懸命の取組でも被害は防止できず、さらに最近では猪・猿に加えて鹿の被害が顕著になり、農家の耕作意欲の減衰が危惧される状態となっていました。そこで3年前、清流の里 山口、農家組合等の農業関係団体が中心となって獣害対策計画(5か年、柵延長9km)を立案、自治会に提案し、「耕作放棄地の発生は地区の荒廃に繋がる。地区全体で取り組まないとは獣害はなくなる。」という議決を得て、自治会全体の取組となりました。また、時間の経過は取組意欲の低下を招くため議決直後から事業を開始し、高さ2mの金網柵とその上に電柵の設置を進めてきました。作業にあたっては、設置箇所の地権者に樹木伐採、枝払いへの了解・協力を得るとともに、耕作者、地権者ばかりでなく一般住民も参加しています。現在までの設置延長は約8kmで、完成まで間近となっている。目標達成まで取組は続きます。



急傾斜地は樹脂網で



作業区域ごとにグループで作業



ここまでで進捗率 90%